

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2016-2017 Rotary International District 2560



長岡市逆谷「寛益寺」、「仁王像の切絵」長岡市気比宮、小熊美穂子さん作



国際ロータリー第 2560 地区 2016-2017 年度

ガバナー月信

2017. 1.01

Vol. **7**

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	1 年派遣学生オリエンテーション・クリスマス会 報告	8
糸魚川大火について 報告	2	新入会員紹介	9
新保 GE ご夫妻渡米壮行会 報告	3	新入会員紹介会員数および出席報告	10
2017-18 年度派遣学生選考会 報告	4	コーディネーターNEWS	11
米山学友会総会 報告	5	ハイライトよねやま	12
R 財団 100 周年記念シンポジウム 報告	6	米山梅吉記念館便り・ロータリー文庫通信	14
R 財団奨学生選考会 報告	7		

2016-17 年度 ガバナー 田中 政春

田中ガバナー事務所 〒940-2108 長岡市千秋 1-253-3 ベルダンビル 1F

TEL : 0258-86-6236 FAX : 0258-86-7068 E-mail : m.tanaka@rid2560niigata.jp

私の活力源

国際ロータリー第2560地区
2016 - 17 年度 ガバナー
田中 政春（長岡西 RC）



謹んで新春のお慶びを申し上げます。ロータリアンの皆さまには、健やかに良き新春をお迎えのことと存じます。昨年7月のガバナー就任以来、皆さまには並々ならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

新年を迎え、ガバナーの任期をマラソンに例えれば、ようやく折り返し地点を通過し、ゴールを目指して気合を入れ直すべき正念場と言ったところでしょうか。去る11月28日から12月1日に、今年度の地域別（日本全体）のロータリー研究会が名古屋で開催されました。ジョン F. ジャーム RI 会長も出席され、国際ロータリーの現職、次期そして元役員の方々とロータリーの最新情報や課題、計画等についての意見交換を行い、お互いの交流を深めるよい機会でありました。ある意味、私自身にとって、任期後半への大きな活力源の一つとなりました。

もう一つ、私には核として大切な活力源があります。それは、ロータリアンとしての誇りです。「職業を通して社会に貢献したい。」「地域の人たちの役に立ちたい。」と思う職業奉仕、超私の奉仕を忘れないということです。マラソンは、全力疾走で完走することがとても難しいです。完走するために大切なことは、適度なペース配分はもちろん、私にとっては、ロータリアンとしての誇り、この活力こそが、ゴールに向けた正念場での踏んばり、勝負所での力となると信じています。

今月は「職業奉仕月間」です。職業を通して地域社会のため、地域の人たちのために尽くす職業奉仕は、ロータリーの奉仕活動の中核をなすものです。この職業奉仕を実践するためにも、親睦を通して、仲間との友情と信頼を深め、自己研鑽とクラブの連帯を強めることが必要です。そして、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」、この言葉を今一度、奉仕の実践の活力源としてはいかがでしょうか。

ロータリーは今、取り巻く環境の変化に対応し、新たに取り組まなければならないこともあります。どうか本年も皆さまからの変わらぬお力添えをお願いすると共に、皆さまのより一層のご活躍をご期待申し上げます。ともに快走しましょう。

謹んでお見舞い申し上げます。

「糸魚川大火についての報告」

国際ロータリー第2560地区
2016 - 17 年度 ガバナー
田中 政春（長岡西 RC）

年の瀬の押し詰まった 2016 年 12 月 22 日に糸魚川駅北大火が発生いたしました。

この大火により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

今回の大火は、50 年から 60 年に一度の日本海沿岸都市特有のもので、糸魚川市大町及び本町の一部、糸魚川駅北側から日本海沿岸まで南北方向に大きく広がり、120 棟が全焼、4 棟が半焼、20 棟が部分焼でした。被災住民は 200 名と報道されています。

糸魚川市地域には、糸魚川 RC と糸魚川中央 RC の 2 つのクラブがあります。

糸魚川中央 RC では 3 名の会員の住宅が類焼(全焼)しました。

糸魚川 RC では 1 名の会員の自宅が類焼(全焼)しました。また、糸魚川 RC の 1 名の会員の店舗と 1 名の会員の自宅の一部が損壊を受けました。そして、糸魚川 RC の 3 名の会員の事業所が軽微な被害を受けました。12 月 27 日、小林地区幹事、相田地区財務委員、佐藤第 7 分区ガバナー補佐と 4 人で、糸魚川 RC と糸魚川中央 RC を訪問し、上記の被災状況を確認してきましたのでご報告いたします。

一日で思い出の詰まった家財を焼失した悔しさは計り知れず、また、年末に向かう時期で災難が何倍にも重く苦しいものになっていることにご同情申し上げます。1 日も早い復旧・復興を地区挙げて支援する所存です。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

新保ガバナーエレクトご夫妻渡米壮行会

国際ロータリー第2560地区

2017-18年度地区幹事 丹治 芳子(新潟万代RC)

12月3日(土)、17時からホテルオークラ新潟で新保ガバナーエレクトご夫妻渡米壮行会が行われました。師走の忙しい中を、田中ガバナー、川瀬ガバナーノミニーご夫妻をはじめとして、49名の皆様方からご参集いただきました。

渡米壮行会に先立ち、新保年度第一回地区運営会議が行われ、新保ガバナー年度地区役員、ガバナー補佐が一堂に会し、新保年度の方針・組織表・4大大会実施要項、等が話し合われました。その新保年度へ向けての真剣な話し合いの後でしたので、緊張がとけ、和気あいあいの大変温かい壮行会となりました。



小林地区幹事の司会の下、まず、田中政春ガバナーからユーモアあふれる激励の御挨拶がありました。目覚ましが故障して本会議に遅刻しそうになった話などで会場は笑いに包まれました。



その後、新保ガバナーご夫妻が御登壇され、餞別・花束贈呈が行われました。

それに応え、新保ガバナーエレクトは緊張の面持ちで登壇し、国際協議会出発に際しての決意と心意気を強く語られました。乾杯の御挨拶は中條耕二 パストガバナーが務められました。お人柄を反映して、新保ガバナーエレクトを気遣い、励ます気持ちが溢れる素晴らしいスピーチでした。

宴会に入ると、あちこちのテーブルでビール、日本酒、ワインの酒杯が酌み交わされ、歓談の輪が広がりました。新保ガバナーエレクトは積極的に各テーブルを回り、国際協議会への抱負を語ると共に新保年度への協力を要請されていました。また、川瀬ガバナーノミニーご夫妻とも交友を深めていました。

最後に石本隆太郎パストガバナーから中締めのお挨拶を頂戴いたしました。

「国際協議会は地獄の特訓と言われ、みんな大変だ、大変だと言うけれど、決してそんなことはない。一心不乱にロータリーの事を学ぶ得難い経験であると前向きに考えた方がいい。また、共に国際協議会を経験した同期ガバナー達は人生最高の宝となる。転機を迎えているロータリーの未来の在り方をしっかりと学んで2560地区に還元して欲しい。健康に留意され、無事に行って来てください」とご自身の経験を踏まえながら、力強いエールを送られ、参加者全員で一本締めて壮行会を終えました。



ロータリークラブは変革の時を迎えています。変えてはいけない事、変えなければならない事、国際ロータリーは何処へ向かっているのか等々、新保ガバナーエレクトは多くの問題に直面しています。そんな中、新保ガバナーエレクトが無事に国際協議会を終えて帰国することを参加者一同心から願い、壮行会を終えました。

2017-18 年度派遣学生選考試験

国際ロータリー第2560地区

青少年交換委員長 本間 啓介（村上 RC）

昨年、11月26日田中ガバナーと委員会メンバーによる一年派遣学生の選考試験をまちなかキャンパス長岡にて実施いたしました。応募人数は女子3名でした。

例年、女子のほうが男子よりも積極的に応募いただいておりますが、特に今年は全員女子ということで女子力が大きくなってきている世間を象徴しているように思えます。

選考方法は一般常識の筆記試験と作文を書いてもらい面接試験を行いました。それぞれ応募の動機を述べてもらい選考いたしました。

今年の派遣学生は自分の考えや意見をしっかり持っていて将来の自分を描いているということが印象的でした。

選考結果は田中ガバナーの承認を得まして全員合格となりましたことをご報告いたします

2015年2016年と世界の青少年交換は地区の多地区合同化ということが進んでおります。以前までは地区と地区との話し合いで交換学生や交換時期などを決めたりしていましたが、これが地区対国に変わりつつあります。例えば「2560地区」と「ドイツ全体地区」とかというイメージです。

そうしますと当然ながら2560地区の意見は通りにくくなり当地区の方針をはっきりと決めて事前に先方に伝えておくことが必要になってきました。

今までは暗黙の了解と言うものが存在していましたが、国際的には自ら意見を主張していかなければいけないと理解しました。

田中ガバナーの年度も半分を過ぎ青少年交換委員会としましては、新保ガバナーエレクト年度の活動も入りつつあります。更に再来年度の交換学生募集に向けての活動計画も進めております。

今後とも、青少年交換委員会の活動にご理解とご協力をお願い致します。



ロータリー米山記念奨学生、学友会総会開催報告

国際ロータリー第2560地区

米山記念奨学生・学友委員 渡邊 嘉子（新津中央 RC）

2016-17年度米山記念奨学生学友会総会が2016年11月26日（土）ホテルオークラ新潟にて開催されました。米山奨学生学友会正会員12名、準会員（奨学生）18名、米山カウンセラー15名、地区役員委員14名、総勢59名の出席を頂きました。



房文慧（ファン ウェン ウィー）学友会会長の開会挨拶で始まり、田中雅史米山記念奨学委員長
長の挨拶の後、房学友会会長を議長に

- 1、活動報告 房 文 慧（ファン ウェン ウィー）
- 2、決算報告 孫 犁 冰（ソン リ ビン）
- 3、監査報告 詹 秀 娟（セン シュウ ケン）

議事の審議を行い満場一致で承認され、バロリ、
ブレンディ学友会理事の閉会挨拶で総会を無事

終了致しました。

その後親睦会が植木康之米山記念奨学会理事による開会挨拶・乾杯
の発声で始められました。奨学生・学友会員より近況報告の一言スピー
チを頂き、ロータリアンと奨学生・学友会員共にあつという間の楽
しい時を過ごし懇親を深めました。金 峯洙（キム ボン ス）学友会理事の
中締めで懇親会を無事終了致しました。



私もこの総会に出席しこの米山で出会った人たちとの「縁」を大切に、がんばっている奨学生のために残
りの期間を少しでもサポートしていけたらと思いました。



R 財団 100 周年記念シンポジウム開催される

国際ロータリー第 2560 地区

ガバナー 田中 政春（長岡西 RC）

ロータリー財団 100 周年記念シンポジウムは、日本ロータリー学友会主催で、ジョン F. ジャーム国際ロータリー会長ご夫妻ご臨席のもと、2016 年 11 月 27 日東京駅前 JP タワーで開催されました。600 名予定に 800 人以上が登録し、会場から溢れた参加者は会場前の foyer に設置されたモニターをご覧になっていました。

最初にジョン F. ジャーム RI 会長のご挨拶があり、次いで、「ロータリー財団 100 周年学友世界人道奉仕賞」を緒方貞子（1951 年国際親善奨学生：東京 RC）様に授与されると発表されました。この賞は、キャリアと活動を通して、ロータリーの人道奉仕の哲学を体現した優れた学友を毎年 1 名表彰するものです。緒方貞子様は当日公務でご欠席でしたが、元部下の中満泉（厚木 RC）国連事務次長補様が代理を務められました。

榎原美樹（豊中 RC）NHK 国際放送局ワールドニュース部編集長が司会者となりシンポジウムは開催されました。

中満泉氏は、現在 1 日に 3.3 万人が紛争で移動し、避難期間が 27 年と長期化し、1,000 万人位が無国籍になっている。こうした状況下で、人道的活躍をしているが、国連の優先課題は ①シリアやイエメンの現地の人の活性化による問題解決 ②紛争予防と開発投資 ③世界的発展機構の構築？ ④民族の移動対策であると述べ、状況が複雑化長期化しかつ不安定であり、新しい対応策の必要性を示唆されました。例えば、国連、人道支援の改革、人間安全保障、国家の国民保護機能向上について言及されました。

赤阪陽子国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）タンザニア副代表（富田林 RC、）、國枝美佳東京大学大学院博士課程、国際児童基金西・中央アフリカ地域事務所（藤沢北）、阿阪奈美 UNHCR タイのカンチャナブリにて保護官（東京中野 RC、）、金子由香日本国際ボランティアセンター・エルサレム事務所現地代表（熊谷東 RC、2010 年平和フェロー）がそれぞれに活動内容を発表されました。金子由香氏以外は司会の榎原美樹氏を含めすべて国際親善奨学生でした。

奨学金で自分の人生が変わったと全員が述懐されていました。世界的課題にやり甲斐を見出し、困難な仕事に邁進している姿を見聞き深い感銘を受けました。日本の女性が国際的に活躍しているが、男性はどうしたのか？という声もありました。記憶が薄れたところに報告するように言われ記憶違いがあるかもしれません。ご容赦下さい。



Photo by

Allison Kwesell

ロータリー財団奨学生選考試験を終えて

国際ロータリー第2560地区

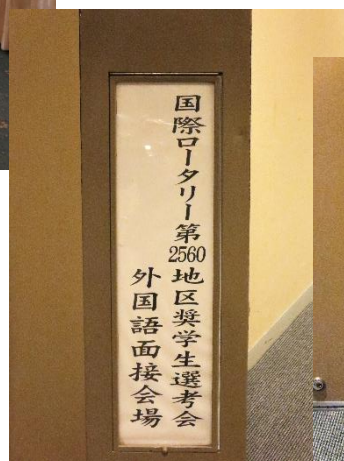
ロータリー財団委員長 佐々木 昌敏 (小千谷 RC)

12月10日(土) ホテルイタリア軒にて10時より、田中ガバナー、新保ガバナーエレクト、地区財団委員、立会いのもとグローバル奨学生面接が行われ2名のグローバル奨学生を推薦することになりました。それぞれ6つの重点分野である、母子の健康、経済開発と地域開発という分野で留学を希望されております。

午後1時30分からは地区奨学生の選考会があり、外国語面接、日本語面接の結果2名の合格者を決定いたしました。

毎年の事ながら、奨学生候補者は年々参加者が少なくなっていますが、その分、向学心のある学生および社会人の方々が多く、選考に苦慮しました。できる事ならば、選考会に受験された方々全員に留学させたい、という意見が選考委員からも多く出たのですが、限られた財源の中でしか派遣できませんので苦渋の決断で選考させて頂きました。

今後もロータリアンの皆様の多くのご寄付をお願いして、より多くのロータリー財団グローバル奨学生、地区奨学生を派遣していきたいと思っております。



1 年派遣学生オリエンテーション&クリスマス会

国際ロータリー第2560地区

青少年交換委員長 本間 啓介 (村上 RC)

12月17日は、田中ガバナーと新保ガバナーエレクトに出席頂き1年交換に向けてのオリエンテーションを実施しました。参加者は韓国へ派遣予定の野口さん、ドイツに派遣予定の有田さん、カナダに派遣予定の米山さんとそれぞれの保護者、スポンサークラブに出席頂きこれからの準備についてや注意点を重点にお話しさせて頂きました。特に、ロータリーの歴史や用語については国内だけでなく派遣先でも同じ用語やルールを使いますので詳しく説明しました。

また、絶対守らなければならない「ロータリーの4Dルール」については特に理解してもらいました。

事前に配っておいた「青少年交換マニュアル」の感想文を読み上げて頂きました、青少年交換マニュアルは今まで数十年間に各国に派遣された学生の貴重な体験を元に作成された43ページにも登る素晴らしいマニュアルです。今回の派遣学生の感想文はよく読み込まれたと感ずることのできるものでした。この紙面で「青少年交換マニュアル」全文を紹介出来れば良いのですがそれは出来ませんので青少年交換委員会に問い合わせ頂ければメールでお送りします。

ROTEXにも参加いただき派遣に向けてのアドバイスをもらいました。ドイツから帰国したばかりの飯吉さんの言葉には皆さん大きく頷いて聞いていました。また、2010年に1年交換で来日したバックマンさんも駆けつけてくれて、在日外国人として別の視点でアドバイスしてくれました。

その後、夕方にはクリスマスパーティーを行いました。私たち日本人は普段クリスマスを盛大に祝うということはありませんが来日学生にとっては大事な行事です。盛大とはいきませんがROTEXがゲームやプレゼント交換をして盛り上げてくれました。最後に参加者30人全員で記念写真を撮り閉会しました。

委員会の仕事としてはこれから出発する学生の安全を守り、来日してる学生の状況を把握し見護ることでありますが今回のオリエンテーションでその役目を十分に果たしていると感じました。今後とも青少年交換委員会の活動にご理解とご協力をお願いいたします。



新入会員 紹介 (敬称略)

RC 名	お名前	入会日	会社名
中 条	水澤 貴洋	2016.12.07	株式会社 ミズサワ
新 潟 東	岩下 和幸	2016.11.18	東海東京証券(株)新潟支店
新 潟 南	森 邦雄	2016.12.07	(公財) にいがた産業創造機構
新 潟 西	稲葉 忠克	2016.11.17	(有) 稲葉基礎工事
新潟万代	遠藤 隆康	2016.12.21	(株)ホテルオークラ新潟
吉 田	瀬戸 正秋	2017.01.01	専業農家
巻	田 中 仁	2016.12.01	UD トラックス新潟(株)
巻	蘇雅 拉図	2016.12.01	大雅貿易照会(株)
長 岡	大磯 崇雄	2016.11.01	損害保険ジャパン日本興和株式会社
柏 崎 東	石黒 博之	2016.11.21	(株)いしと



第2560地区 2016-17年度 11月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日現在	11月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)		85.81	371	376	36	5
新発田	3	96.17	97	100	0	3
村上	3	86.67	36	36	8	0
水原	4	75.00	25	26	1	1
中条	4	86.84	35	37	3	2
新発田城南	3	88.89	40	40	4	0
豊栄	4	87.96	27	27	3	0
新発田中央	4	80.85	48	48	5	0
中条胎内	4	87.12	33	33	6	0
村上岩船	3	82.76	30	29	6	-1
第2分区(9クラブ)		79.20	440	455	21	15
新潟	5	83.15	92	99	0	7
新潟東	4	83.69	62	62	8	0
新潟南	4	82.73	97	100	2	3
佐渡	4	85.70	7	7	0	0
新潟西	3	72.97	37	40	1	3
佐渡南	5	82.32	42	42	4	0
新潟北	4	60.15	42	42	0	0
新潟中央	4	78.00	25	25	0	0
新潟万代	3	84.12	36	38	6	2
第3分区(6クラブ)		75.36	131	129	8	-2
新津	4	72.23	19	18	0	-1
村松	5	79.99	10	11	0	1
五泉	4	76.47	18	18	3	0
白根	3	79.67	42	42	3	0
新津中央	4	73.80	31	29	1	-2
阿賀野川ライン	3	70.00	11	11	1	0
第4分区(11クラブ)		78.19	362	367	22	5
三条	4	86.71	55	55	0	0
燕	4	66.58	33	33	1	0
加茂	3	91.67	28	28	4	0
三条南	3	87.11	51	51	2	0
分水	4	75.19	32	33	3	1
見附	3	70.00	20	19	1	-1
吉田	4	80.30	32	33	2	1
三条北	4	84.08	65	66	3	1
巻	4	71.10	9	11	0	2
田上あじさい	5	68.50	6	7	1	1
三条東	3	78.89	31	31	5	0

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日現在	11月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)		90.33	313	326	28	13
長岡	5	87.36	40	44	2	4
柏崎	4	92.61	42	47	0	5
長岡東	4	91.20	69	70	7	1
柏崎東	4	93.41	53	55	5	2
栃尾	4	85.71	21	21	0	0
長岡西	3	94.12	52	53	6	1
柏崎中央	4	87.92	36	36	8	0
第6分区(6クラブ)		81.95	156	159	11	3
十日町	3	99.04	34	35	3	1
小千谷	3	73.98	40	40	3	0
雪国魚沼	4	77.30	24	25	4	1
十日町北	4	90.62	23	24	0	1
津南	4	77.78	27	27	1	0
越後魚沼	5	73.00	8	8	0	0
第7分区(8クラブ)		79.74	324	331	29	7
高田	4	97.52	61	63	0	2
直江津	5	80.78	51	51	4	0
新井	4	73.17	32	33	3	1
糸魚川	3	72.36	42	43	3	1
高田東	4	76.25	40	40	2	0
糸魚川中央	4	74.31	36	36	0	0
頸北	4	94.20	15	15	1	0
越後春日山	3	69.33	47	50	16	3

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,097	人
11月末 会員数	2,143	人
女性会員数	155	人
純増減会員数	46	人
当月平均出席率	81.42	%

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2017年1月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 3RC

■ 2016年規定審議会とロータリーの戦略計画

2016年の規定審議会では、今までになくロータリークラブの自主性と責任が問われることになりました。各クラブの運営方法、特に例会のあり方を真剣に協議しなければなりません。それこそがクラブの戦略計画です。今の自分のクラブの良い点、悪い点をしっかり検証し、3年後、5年後、10年後のクラブの姿を描いて計画します。それに従って毎年の計画がなされ実行され、毎年の検証も必要です。この戦略計画は、クラブ協議会を通じて、会員全員が共有しなければなりません。また、今回改正されたことを地区や分区分・班・グループで統一見解を出して欲しいとの意見もあります。しかし、今度の規定審議会で決まったことは、各クラブの自主性と責任です。横並びの方が楽ではありますが、会員全員で考え話し合うことを選みたいものです。当然、今までのクラブの運営方法を必ず変えなければならないと言うわけではありません。

■ クラブの細則の改正

いうまでもなく、規定審議会が開催された次の年度には、決まったことをクラブの細則に反映させなければなりません。推奨ロータリークラブ細則を採用しているクラブにおかれましては、クラブの細則は、クラブの例会で改正します。10日前に会員に書面で通知し、定足数を満たした例会で3分の2が賛成することが必要です。また、国際ロータリー定款・細則、ロータリー章典と矛盾してはいけません。

■ クラブ数 会員数

Zone 1	830	28,777
Zone 2	651	28,204
Zone 3	793	33,019
合計	2,274	90,000

■ BOX登録件数

182件

2016年12月6日現在のClub Centralのデータです。



ジョン・F・ジャームRI会長ご夫妻
斎藤直美RI理事ご夫妻
名古屋ロータリー研究会
2016年11月29日

ロータリー研究会とは、ゾーン単位で開催され(日本は3つのゾーン合同)国際ロータリーの現、次期、元役員に国際ロータリーとロータリー財団の最新の情報を提供し、親睦と研修の機会を提供する会です。



2016年7月9日(土)大阪にて、第3ゾーンロータリー戦略計画推進セミナーを開催し、105名の登録をいただきました。開会式では、斎藤理事のご挨拶をいただき、第3ゾーンの3部門、ロータリーコーディネーターとロータリー公共イメージコーディネーターとロータリー財団地域コーディネーターがそれぞれ趣旨説明し、杉谷直前理事の講演をいただきました。そして、部門ごとのグループ討議で地区の情報交換があり、財団部門では、第2730地区のグローバル補助金の事例発表がありました。グローバル補助金の使い方が難しく、それぞれの地区のロータリー財団委員会には、参考事例になったようです。その後の、杉谷直前理事ご逝去は、残念でありました。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター 安満 良明



ハイライトよねやま 201

2016 年 12 月 12 日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 年内のご送金はお早目に —

1 月までの寄付金は前年同期と比べて 2.9%減（普通寄付金 2.7%増、特別寄付金 5.5%減）、約 2,040 万円の減少となりました。依然、前年度比累計額は減少となっておりますが、11 月のみの単月寄付額は 2006 年度以降 11 年間の中で最高額となりました。皆様からのご支援に心より御礼申し上げます。12 月は例年、特別寄付金を最も多く納入いただいている月です。今年も残すところあと半月ほどとなりました。確定申告を予定されている方は **12 月 30 日（金）までに着金** くださるようお願いいたします

全国学友会会長セミナー開催 — 地区を越えた連携へ —

国内の米山学友会会長を対象としたセミナーが 11 月 26 日、都内で開催され、全国 33 の学友会の代表者 29 人が参加しました。来賓の選考・学務委員の渡邊和良氏からの示唆に富んだごあいさつの後、奨学会からの実務説明があり、その後は、80 分間のグループディスカッションが 2 回行われました。それぞれ「学友会の課題と解決策」と「これからの学友会」のテーマに沿って、各



学友会代表者が、運営上の課題・悩みやロータリアンとの連携、特色ある活動などについて事例を出し合い、活発な意見交換が行われました。午後からは、韓国学友会の全炳台会長もオブザーバーとしてディスカッションに参加し、懇親会では一人ずつ特技や趣味の話を披露して、盛り上がりを見せました。今回のセミナーを通じて、地区を越えた学友の輪が広がり、今後の情報共有・連携が進むことが期待されます。

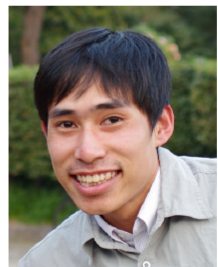
2017 年の年賀状は現役奨学生がデザイン

米山記念奨学会事務局では、評議員・理事・地区米山奨学委員長・他団体など、毎年約 500 枚の年賀状を送っています。今回は、第 2760 地区の現役奨学生で名古屋工業大学大学院修士課程にて工学を専攻するゲンシンコンさん（ベトナム／あま R C）が、年賀状のデザインをしてくださいました。

シンコンさんからのメッセージ



米山奨学金の合格通知をいただき、他の奨学金を辞退してロータリー大家族の出会いを楽しみにしていました。そして素敵な方に出逢いました。年賀状では鶏の家族の暖かい愛情を表現し、ヒナの目とお父さんの目は幸せに見合っています。そして、お父さんとお母さんは子供と一緒に支えています。これは、僕の奨学生としての実感です。出逢いは本当に奇跡であり、その奇跡の元は愛であることをロータリアンから学びました。今言えることは、米山奨学生になってよかったです。皆さんの暖かさに包まれ幸せです。



韓国米山学友会が総会を開催—日本人留学生支援も開始—

11月19日、ソウル市内のホテルで韓国米山学友会の定期総会が開催され、学友約70人のほか、当会の小沢一彦理事長や第3650地区の朴虎君ガバナーをはじめ韓国ロータリー関係者、台湾米山学友会・関西米山学友会役員など、約90人が参席する盛会となりました。

総会の第一部では、全炳台韓国学友会会長のあいさつや来賓からの祝辞に続き、ソウル国際大会を含む一年間の活動報告、今後の事業計画の報告などが行われました。第二部では、韓国学友会が5月から支援を始めた在韓日本人留学生2人への奨学金授与式が行われ、その後は和やかな懇親会で交流を深めました。参加者からは、「学友会を通じて、米山との絆が繋がってうれしい」「多くの人から支援を得て、学友会が発展していけると感じた」「最近若い学友たちが積極的に参加し、学友会の雰囲気が活気に満ちている。今後帰国する学友も、ぜひ一緒に活躍してほしい」などの声が聞かれました。今後はさらに会員を増やし、役員が交代しても継続できるよう組織のシステム化を図り、会員同士の連携・連帯を強めていく方針を掲げています。(取材協力:韓国米山学友会広報委員会)



学友会が支援する日本人留学生もあいさつ

「奨学生体験発表会」と母国料理で感謝— 第2530地区 —



11月23日、第2530地区米山学友会が主催する「奨学生体験発表会」が郡山市内で開かれ、奨学生と学友20人のほか、当会常務理事の武田和夫氏、よねやま親善大使の金福漢さん、同地区佐久間英一ガバナーをはじめロータリアンら総勢約70人が出席しました。

奨学生は各自学びの成果や、故郷の紹介、将来の夢など思い思いのテーマで発表、ロータリアンは興味深そうに耳を傾けました。また、よねやま親善大使の金福漢さんは、自身が経営する福祉施設で

作ったさまざまな絹糸を見せながら、「同じ絹糸でも、製法によって見た目も手触りも全く違う。人間もこれと同じで、互いの国籍、肩書などでその人を判断することなく、実際に触れ合うことを大切にしてほしい」と、語りました。

この日は朝早くから、奨学生・学友のほか、チンタカ・クマール会長の教え子のみなさんが協力して母国の手料理を準備しており、作りたてのフォー（ベトナム）、水餃子（中国）、ホーショール（モンゴル）、キリバット（スリランカ）などがテーブルいっぱいになるまわれ、全員で舌鼓を打ちました。



申告用領収書は来年1月にお送りします

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1～12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12月30日（金）当会着金分までが対象です。**

米山記念奨学会事務局は、
12月28日（水）～1月5日（木）の間
休業させていただきます。
来年は1月6日（金）より通常業務
となります。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当 : 野津(のづ)・峯(みね)

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑤ 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、8年間アメリカで学び、日本の教養を少しも失わず、洗練されて帰って来た「日本の紳士」でした。『米山梅吉伝』の高木隆吉氏「恩顧を偲びて」には、三井銀行時代の思い出として『米山先生は、容姿端麗常時一寸の間もない整然とした服装をしておられ、博識篤厚の君子人で、最も米国の事情に精通した文化人であられた。実業家というよりは世情に通じ、最もものの判りのよい教育家のようであった』と。また桂三さんとの渡米のお世話をした様子も『ホテルで先生はベッドに這入られると必ずノートに和歌を沢山書きとめられておられるのを見た』とも書かれています。



米山梅吉40歳ころ。長男東一郎と共に（青山学院初等部提供）

米山梅吉 関連図書 の紹介



文庫判
谷内宏文著
本文369ページ
890円

点描 米山梅吉 新風舎刊
「米山梅吉伝」をふまえ、さらに新しい視点から米山の人物像に迫った1冊です。特に金融界での活躍や、三井報恩会での事業について深く掘り下げた、奉仕の人米山梅吉を知る格好の好著です。現在は一般書店では手に入らず、米山記念館のみで取り扱い中です。

米山梅吉記念館のホームページが新しくなりました。

米山梅吉に関する年表や人物像などの記述を充実させました。2019年には記念館創立50周年を迎えますので、その記念事業の一環としてリニューアルしたものです。ぜひご覧ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時

【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山梅吉記念館へのご来館歓迎

クラブの移動例会、個人での来館歓迎。
日本のロータリー創設者米山梅吉の生涯、奉仕活動、社会貢献や根幹にあるロータリー精神を、学芸員の解説でより深く知ることが出来ます。

文庫通信 (352号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

忘れ得ぬロータリアン (1)

◎「父 北島亘とロータリー」	北島メリー・エミ	1963	3p
◎「大夢翁 土屋元作」	日出R. C. 編	1996	199p
◎「井坂孝の足跡」	鈴木清次編著	2009	221p
◎「村田省蔵の思い出」	伊藤武雄	1963	3p
◎「父 朝吹常吉を憶う」	朝吹英一	1963	4p
◎「父 市左衛門を憶う」	森村義行	1963	4p
◎「真のロータリアン平沼亮三」	上野 健	1963	4p
◎「父 岡崎忠雄の面影」	岡崎 忠	1963	4p
◎「星野行則翁の思い出」	磯野 巖	1963	4p
◎「宮脇 富パストガバナーを偲んで」	東ヶ崎 潔 他	1968	13p

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日